

第3回

## 静岡県高齢者福祉研究大会

口腔ケアによる健康維持の取り組み  
～介入までのかかわり～

特別養護老人ホーム さつき園  
介護職: 亀井沙矢香  
上野 彩



## 特別養護老人ホームさつき園

理念

「生きる喜び・生きる意欲の持てるホーム」

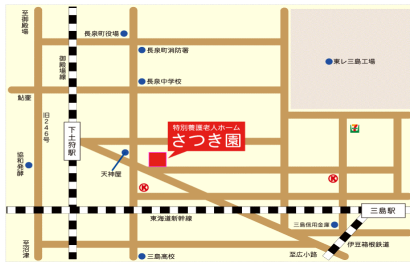
平成16年4月開所

個室ユニット型 定員70名

短期入所生活介護 個室ユニット型 定員10名

## さつき園への案内図

位置



## 使用している口腔ケアの用具



## 対象者

- S.H様 77歳 女性 要介護3
- 三人姉妹の末っ子 結婚歴なし
- 幼少時:成績優秀
- 青年期:キャリアウーマン
- 定年退職後:千葉県より静岡県へ転居
- 独居生活を送る
- 友人は作らず、転居後、千葉より姉を呼び、近所に住まわれる  
(実姉以外、関係は希薄)

### 【発症から入所まで】

- 平成15年脳梗塞により自宅で倒れる
- 右片麻痺と失語症の後遺症が残る



- リハビリ病院、老人保健施設を経て、平成17年1月さつき園に入所される

### 施設生活の様子

- 一日のほとんどを居室で過ごす
- 生活への意欲がみられない
- 性格は几帳面で居室の中は常に整理整頓されている
- 対人関係は実姉と限られた職員のみ

### 関わる前の口腔ケア

- 居室に歯ブラシセットの用意をしても行われない
- 気が向いたときに嗽をする程度
- 義歯はなく**全て、ご自分の歯**である



脳梗塞発症前は、ご自分でブラッシングされ大切にされていたことが想定される

### 関わり開始(平成22年夏)

#### 【口腔内の様子】

- ご本人の意向により口腔内の隅々まで確認させていただけなかった。
- 入所後より口腔ケアの習慣がなかったために口腔内には常に食物残渣が溜まり、歯垢、歯石の付着が見られた。
- 口腔内の**不快**と**就寝中の誤嚥**が心配。



S様が今まで大切にされてきた歯を守り、口腔ケアで関わりを持つことで、少しずつ心が開いてくれたら...

### S様の行動

#### 〈日中〉

- 食事以外の時間は居室のテレビの前で過ごす。

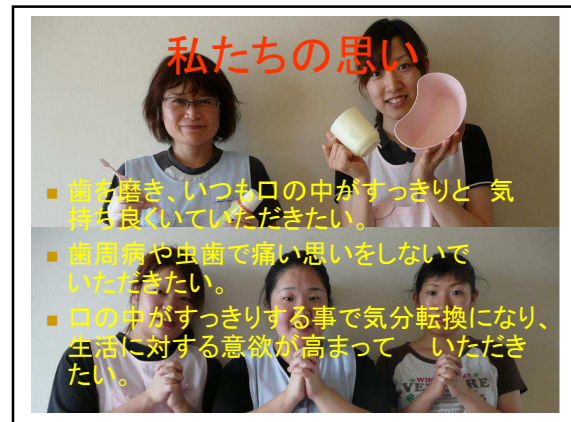
#### 〈夕食後〉

- 居室に戻り、パジャマ(上)へ着替える。
- 更衣後、居室前のトイレに向かわれ、職員の到着を待つ。
- 排泄介助とパジャマのズボンへのはき替えを済ませ、パジャマ(上)を整える。
- 居室へ戻られ、介助により就寝される。

## 検討課題 平成23年2月

- 対応ができるのはS様に支援を受け入れていただける限られた職員のみ
- その職員でさえも磨き直しについては受け入れてもらえず

毎日の口腔ケアまでには遠い道のりであると実感！！



- 職員によって歯を磨く日と磨かない日があるのはS様にとっても良い事ではないと思ひ、**歯科衛生士**へ相談を行う。



- 平成23年2月 **歯科衛生士**による**口腔ケア**を受ける。

## 歯科衛生士による口腔ケア

- 「あら～Sさん、ご自分の歯が31本もあるのね。これは、すごいことなのよ。これからも大切にしてくださいわ。」
- 話をしながら時間をかけ、丁寧にブラッシングをされる
- ケア後、今までに見たことのない、きれいな口腔内であった

## S様の様子

- **初めての関わりであっても照れ笑いをされながら支援を受け入れる**  
(なぜ・・・)
- たった一日、数十分の関わりではあったが、S様はご自分の自慢の歯を初めて会った**歯科衛生士**が褒めてくれて嬉しかった？
- **歯科衛生士**による**ブラッシング**が心地良かった？

## 関わりの見直し

- 夕食後のみの口腔ケアを**毎食後のケア**へ変更
- 対応可能な職員がケアを行う
- **歯を褒めながら、大切にしましょう**と話しかけながら、**ブラッシング**をしていただく
- 右麻痺であるためか磨き残しが多いために、ご本人による**ブラッシング**後、確認、**磨き直し**を**させていただく**
- 最後は**鏡**で**口の様子**を確認していただく

## ケア見直し後のS様の様子

- 職員の言葉かけに、ハニカミながらも笑顔が見られるようになる
- 歯ブラシに歯磨き粉をつけて手渡すと笑顔で受け取られるようになる
- 職員の磨き直しを受け入れてもらえるようになる
- 鏡での確認の際は、ご自分の歯を真剣に確認され、笑顔を返される

## 歯科医師との勉強会

- S様の様子に口腔ケアへの意識付けができた、達成感を感じていた、私たち…



〈歯科医師からの投げかけ〉

- なぜ、口腔ケアにこだわるのか？

施設では口腔ケアにこだわらなくてもご利用者が気持ちよく、自分らしい生活ができる支援はたくさんあるのに、なぜ、口腔ケアで心を開こうとするのですか？

## なぜ、口腔ケアにこだわるのか？

- 食べる事は生きる喜びに繋がる  
(おいしい物を食べた時に幸せを感じるから)
- 口腔内の雑菌を減らすことで肺炎や心臓疾患、感染症の予防等、疾病の予防となる
- 唾液の分泌が増え、消化吸収を助けてくれる
- 噛むことは脳への刺激となり認知症の予防に繋がる
- 歯がある事で噛みしめ平衡感覚の維持に繋がる
- 口が健康である事により話ができる
- 歯磨きが習慣になる事により生活のリズムが付きやすい

## 口腔ケアを行う事で…

〈疾病の予防として〉

- 認知症の予防
- ADLの低下予防
- 疾病の予防

※いつまでも美味しく食べられるという事は生活の質をあげ、さつき園の理念である「生きる喜び」に繋がる

## こだわる理由

- いつまでも美味しく食べていただきたい
- 病気を予防していただきたい

だからこそ…

私たちは、食事介助や排泄介助、保清、活動等の生活支援と同様に口腔ケアを大切なケアの一つとしてこだわっていきたい。  
関わりを増やすことで心も開いていただける。

## 今後の関わり

口腔ケアを日常生活の中で、当たり前のケアとして受け入れていただくために…

- ・コミュニケーションを今まで以上に取っていく
- ・笑顔で接する
- ・スキンシップをはかる

S様に受け入れてもらえない職員も必ず笑顔で言葉をかけ、手を握る、肩に触れるなど、S様が安心できるようなボディタッチを取り入れながら関わる

## 不安・悩み

- 実際、S様に睨まれたり、蹴られたり、叩かれたりするので、正直怖い
- 生活の一部について支援を受け入れてもらえている職員から「この事がきっかけで、他の支援も受け入れられなくなったらどうしよう」



- 無理はしなくても良い
- S様の為にできる事をしていこう

